株式会社QOLPの事業分野

■地域振興・集客・防災　コンサルティング＋ICT企画開発事業

国土交通省、総務省、経済産業省などの各省庁と地方自治体との連携による、主に地域振興・集客・防災企画のコンサルティングおよび、ICT企画・開発を、数多く手がけています。

Keyword1 モバイル

KDDIのBREWアプリ開発を初期段階から手がけ、2003年以降モバイルソリューションを核とした企画提案、システム開発を行い、スマートフォン、タブレットへと展開しています。

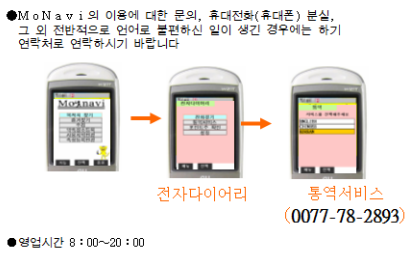
Keyword2 位置情報

モバイルソリューションの企画と同時に、GPSによる位置情報取得、現在位置と経路の連動、利用者行動の分析、地図プロットなどを手がけています。

Keyword3 動画

モバイル端末での動画再生に先行して、写真・テキスト・音声を組み合わせた情報配信を行い、モバイル端末での動画制作プラットフォーム（MDD）の開発・提供につなげました。

Keyword4 多言語



初期携帯に搭載するハングルフォ（日英中韓）ントの自社開発を含め、多言語による観光情報配信を企画・開発しました。

株式会社QOLPの事業分野

■サイネージソリューション

マルチデバイスデジタルサイネージのコンテンツ管理・配信ソリューションを、自治体様、メーカー様に提供しています。

Keyword1 マルチデバイス配信

feature phone

smart phone

digital television

tablet

vending machine

digital signage

専用デジタルサイネージだけでなく、各種モバイル端末、テレビ受像機、自販機サイネージなどの、多様なデバイスへの配信・表示を、簡易な設定で行えるシステムを提供しています。

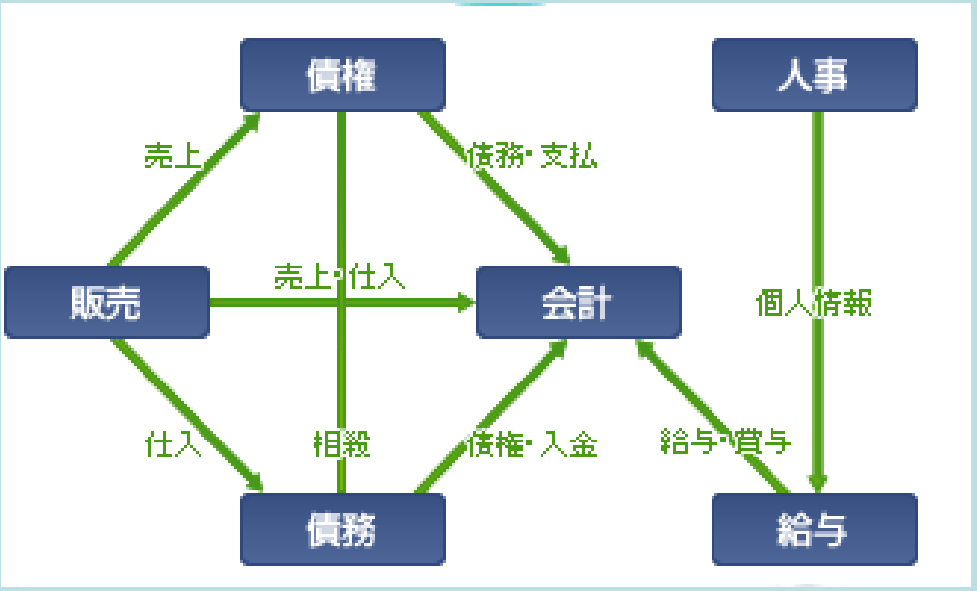
Keyword2 フレキシブルなサイネージデザイン

QOLPのモバイル動画製作ソリューションMDDとの連携や、twitter、Youtubeなどのソーシャルソリューションとの連携、自治体ホームページや天気予報などとの情報連携を行い、フレキシブルな視覚デザインが可能です。また、iBeaconや各種センサーとの連携でインタラクティブなコンテンツ表示も行えます。

株式会社QOLPの事業分野

■ビジネスソリューション

官庁や一般企業の人事管理、国内メーカーのオリジナルERP（財務・人事・販売）、新聞社の部数管理・
顧客管理、健康保険組合業務、ファームバンキングシステムなど、多岐に渡るビジネスアプリケーションについて、
企画設計から開発までを一環して手がけてきています。
大規模システムの場合も小規模システムの場合も、どのような環境でどのような人が使う可能性があるかという
ことを常に考え、各種ツールとの親和性も考慮して、設計・開発を行っています。



株式会社QOLP　事業分野

■ＷＥＢサイト・アプリ・コンテンツ制作、動画撮影・編集・配信

その他、ＷＥＢサイトやアプリ、動画コンテンツなどについて、企画・デザインから制作・配信まで、トータルにご提供しています。各種プラットフォーム、多言語に対応することができます。多言語については翻訳も合わせて承ります。

株式会社QOLPの事業分野

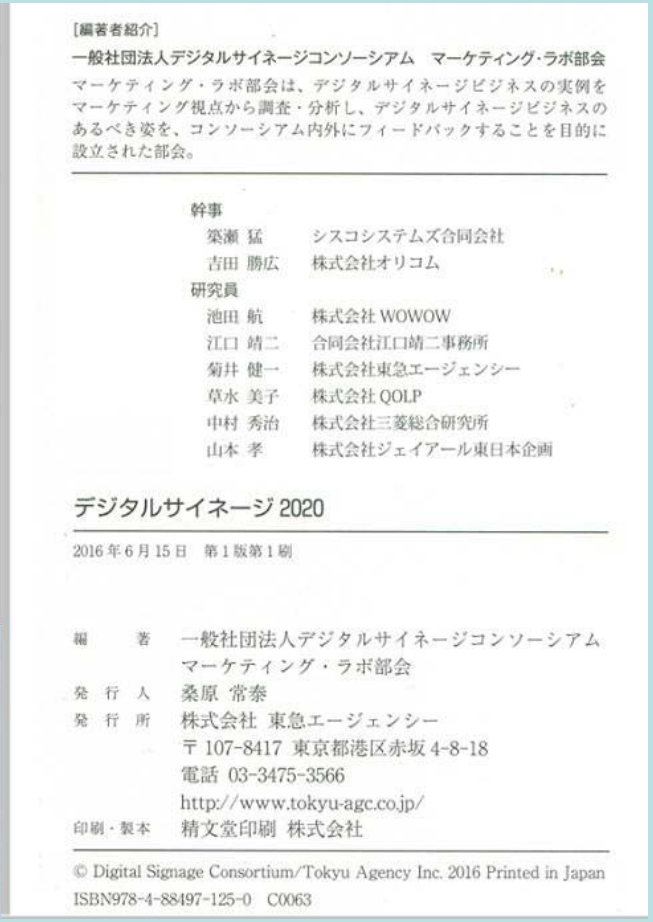
■デジタルサイネージ導入企画　コンサルティング

2016年6月刊行の書籍
「デジタルサイネージ2020」

弊社代表草水が８名の執筆
メンバーのうちの１名として
主にソフトウエア関連の
パートを執筆しています。

また、デジタルサイネージの
総合イベントである「デジタル
サイネージジャパン」で、
2016年、2017年のワークショップ
講師、講座パネリストを担当して
います。
2017年度開講のネット講座の
講師もつとめる予定です。

－－－－－－－－－－－－－－－－
デジタルサイネージの企画に
ついて幅広いご提案をさせて
いただきます。



株式会社QOLPの事業分野

■Ｂｔａｇｓ

新しい「大好き」の
出会い方

デジタルサイネージ
＋ビーコン
＋モバイルアプリ・・の
、
インタラクティブ
サイネージソリューション

株式会社QOLPの事業分野

■iPhone アプリ

各種イベント用アプリの他、独特の世界観で好評のゲームアプリ「ParadiseLostシリーズ」をリリースしています。

株式会社QOLP　事業分野

■山手線ビーコンを使ったアプリコンテスト（主催：ＪＲ東日本・ＮＴＴドコモ）で、最優秀賞を受賞

発表会・表彰式

2017年2月20日（月）、さいたま市の鉄道博物館で「山手線ビーコンを使ったアイデア・アプリコンテスト アプリ部門」の発表会並びに表彰式が開催されました。一次審査を通過した5チームが登壇し、審査員と招待客を前に熱のこもったプレゼンテーションを繰り広げました。

上位チームは山手線で実証実験を行える！

各チームに与えられたプレゼンテーションの時間は5分間です。上位3チームには最大半年間、商用環境での山手線チェックインサービスが無償提供され、さらに最優秀賞に輝くとプロモーション支援も受けられるとあって、どのチームも真剣そのもの。プレゼンの後の質疑応答では審査員を務めた池澤あやか氏が積極的に質問を投げかけ、会場は大いに盛り上がりました。
厳正なる審査の結果、最優秀賞には『黒猫誘拐事件』（株式会社QOLP）が、優秀賞には『ママの手』（株式会社ミツエーリンクス）と、『KINOWA』（株式会社ORBITALLINK）がそれぞれ選ばれました。受賞チームは表彰式後の交流会中、鉄道博物館に展示されている車両にて、デモンストレーションを披露。事業化に向けた一歩を踏み出しました。

- 審査員 -

東日本旅客鉄道株式会社 常務執行役員 IT・Suica事業本部長
野口 忍

株式会社NTTドコモ 取締役常務執行役員 スマートライフビジネス本部長
村上 卓司

株式会社ジェイアール東日本企画 常務取締役 交通媒体本部長
橋 修

特別ゲスト審査員
池澤あやか

主催者のプロモーション支援を受けて、
2017年9月アプリリリース予定。

最優秀賞　『黒猫誘拐事件』

企業名
株式会社QOLP

アプリ概要
誘拐された黒猫ミーを謎解きしながら救出するゲームアプリ。列車の進行によってストーリーが展開する。山手線全駅の情報を織り込んでおり、どの駅から乗車してもスタートすることができ、降車して中断したストーリーはまた次回の乗車時に再開できる。それぞれの駅や号車、季節、時間帯などによってストーリーが分岐し、バリエーションが豊富に展開するため飽きることがない。また、マッシュアップメニューを用意し、駅周辺の地図やイベント紹介なども表示できる。

審査員コメント
テーマに合ったコンセプトかつ練り込まれたコンテンツが高評価
最優秀賞のプレゼンターであるJR東日本 常務執行役員 IT・Suica事業本部長の野口忍氏は「ビーコンの位置情報や車両情報をきちんと活用し、コンテンツもしっかりと考えられている点」が高評価だったとし、さらに「山手線は通勤通学の日常利用が大半ですが、このアプリを通して会話が生まれ、ビジネスやサービスのチャンスが生まれることを期待しています」とエールを送りました。受賞メンバーは「毎日山手線で通勤しているので、受賞できて本当に嬉しい」と喜びの感想を述べました。

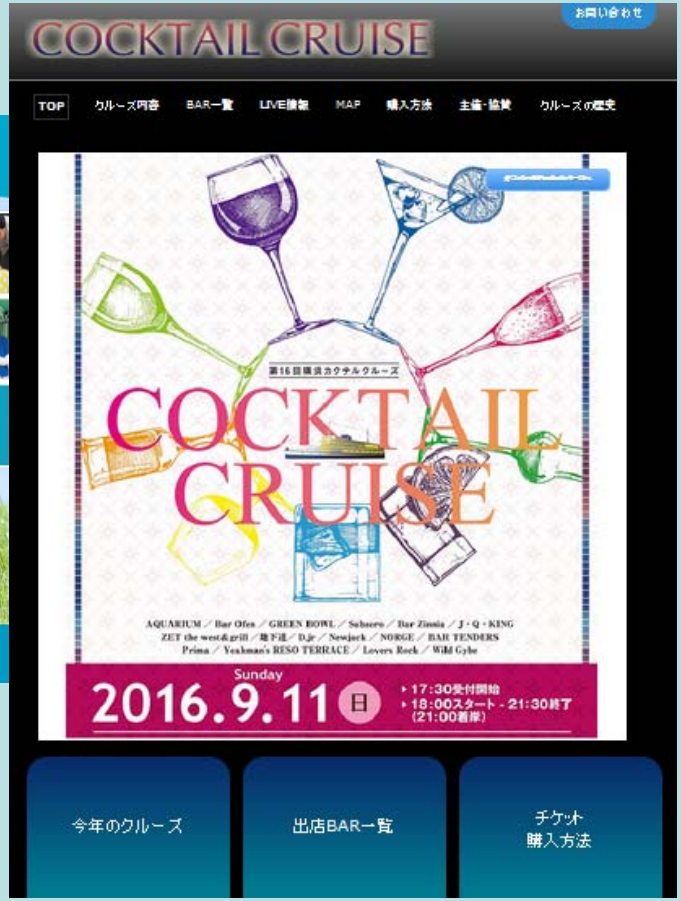
株式会社QOLPの事業分野

■家電ロボットアプリ

株式会社QOLP　事業分野

■イベントプロジェクト運営

ココロとカラダに良いことを・がん検診啓発「ココカラプロジェクト」
（横浜駅東口公開空地「はまテラス」活用の運営も行っています。）



横浜のバー文化を発信する「カクテルクルーズ」
2018年　第18回開催予定